



公益財団法人 山階鳥類研究所

アホウドリを絶滅の瀬戸際から救い出すために  
毎年の現地調査が不可欠です！

## 保全活動とモニタリングを継続するための マンスリーサポーターの募集を開始しました

---

山階鳥研では絶滅危惧種アホウドリの状況のモニタリング（経過観察）や保全のため、ご支援いただくマンスリーサポーター（500円/月）を2,000口目標で募集します。2,000口で毎年、鳥島で1回、鴛島で3回の調査が可能となり、すべてのヒナへの足環装着、個体数・ヒナ数モニタリング、鴛島でのデコイによる誘引などの保全活動が継続できます。おおむね10年の活動継続を目指しています。

---

- ・特別天然記念物で、レッドリスト（環境省、2020）の絶滅危惧Ⅱ類に位置づけられるアホウドリは、これまでの熱心な保全活動により、個体数が回復してきており、2023年現在、推定総個体数が7,900羽を超えるまでになりました。
- ・この回復のために、1970年代から、研究者の自弁や、各種の助成金、公的予算などにより継続されてきた毎年の現地調査が果たしてきた貢献は計り知れません。現在は山階鳥研が主に環境省と東京都の予算によって、毎年、伊豆諸島の鳥島と小笠原諸島の鴛島で標識調査やモニタリングを含む保全活動を行っています。
- ・とくに、最大の繁殖地である伊豆諸島の鳥島で毎年孵化するすべてのヒナに個体識別用の足環を装着する作業が半世紀以上にわたって行われてきたことは、アホウドリという数十年も生きる長寿の種の、現在と今後の保全のための判断に不可欠な情報を与えているきわめて重要な蓄積になっています。
- ・しかし、保全活動と研究のために支出されてきた公的予算は、他の絶滅危惧種とのバランスの考慮などの理由から大幅な縮小の方向が示されており、このままでは毎年の現地調査は継続できない見通しです。
- ・このことは、上記のほぼ半世紀にわたる蓄積が失われることを意味し、われわれはアホウドリを本当に絶滅危惧種から救い出すための大きなよりどころとなる判断材料を失うこととなります。



- ・さらに、最大の繁殖つがい数を擁する鳥島は火山島で、いつ噴火してもおかしくありません。噴火の時期と態様次第では、最大の繁殖地に大打撃を与える可能性があるため、緻密なモニタリングが必要です。
- ・また、鳥島の現状をふまえ、本種の危険分散を目指して、歴史上の繁殖地のひとつにアホウドリをもう一度繁殖させるべく、2008年から再導入のプロジェクトが行われた小笠原諸島聳島では、2021～2022年の繁殖期にやっと2つがいが繁殖し始めたばかりで、安定した集団繁殖地が形成されたとは言えません。アホウドリは1年に1卵を産むだけなので、個体数が増えるには長い年月を必要とします。孵化するヒナへの足環装着のほか、繁殖が立ち消えになってしまわないよう、引き続きモニタリングと状況に応じたきめ細かい対策が必要です。
- ・最近、これまで1種と考えられてきたアホウドリは、分類学的に鳥島と尖閣諸島で繁殖する集団を別種とするべきという研究成果が出ていることから、尖閣諸島の個体群の現状や絶滅危惧の度合いについて至急把握する必要があるため、このためにも鳥島と聳島での標識調査とモニタリングの継続が大きな力となります。

多くの皆様に、アホウドリが本当に身近な鳥になる未来を支えていただきたく、マンスリーサポーターのご案内をいたします。

### アホウドリマンスリーサポーターのランディングページ

100万羽の景色を、もう一度日本で あなたの寄附で、アホウドリを復活へ。

<https://www.yamashina.or.jp/albatross/kifu.html>



ランディングページ

### 動画で見る山階鳥研の保全活動

活動全体像編 <https://www.youtube.com/watch?v=AMfQfgRubGE>

鳥島編 <https://www.youtube.com/watch?v=raqWXfIFwkQ>

聳島編 <https://www.youtube.com/watch?v=jtkQOnnDzAE>



活動全体像編



鳥島編



聳島編

<p><b>この件についての問い合わせ先</b></p> <p>※写真のデジタルデータをご希望の方もお問い合わせください。</p>	<p>山階鳥類研究所広報担当 平岡考 E-mail : hiraoka@yamashina.or.jp Tel. 04-7182-1101 Tel. (携帯) 090-5332-2769</p> <p>山階鳥類研究所 自然誌・保全研究ディレクター 水田拓 E-mail : mizuta@yamashina.or.jp Tel. 04-7182-1107</p> <p>山階鳥類研究所研究員 澤祐介 E-mail : sawa@yamashina.or.jp Tel. 04-7182-1107</p>
---	---

## 【参考】

### アホウドリ (*Phoebastria albatrus*)

ミズナギドリ目アホウドリ科。特別天然記念物、国内希少野生動植物種（種の保存法、1993年指定）、絶滅危惧Ⅱ類（環境省レッドリスト 2020）

### 分布および個体数

- ・繁殖地は、日本の伊豆諸島鳥島（以下、鳥島）と尖閣諸島（※近年、鳥島と尖閣諸島の個体群は別種と考えるべきという研究成果が出ていることは後述）。
- ・非繁殖期には、北太平洋のベーリング海やアリューシャン列島、アラスカ沿岸まで移動する。
- ・1949年の調査で一度絶滅したと考えられたが、1951年に約10羽が鳥島で再発見された。1971年には尖閣諸島で少数の生息が再発見された。
- ・減少原因は、1890～1900年代に羽毛採取のために大量に捕獲されたことによる。
- ・保全活動の成果などもあり、現在個体数は約7,900羽以上（尖閣個体群は除く）まで回復したと推定された。

### 形態および生態

- ・成鳥は全長が84～94cm。
- ・成鳥は全体的に白く、風切羽や尾羽が黒い。頭部は淡黄色。ヒナから2歳ごろまでの若鳥は全身黒褐色で、成鳥羽になるまでは7～15年ほどかかる。
- ・繁殖期は10月～翌年5月。
- ・巣立ち後3～4年で巣立った場所に帰ってくる。5歳前後から繁殖に参加するが、巣立った場所で繁殖を行う傾向が強い。

### アホウドリの小笠原再導入

現在、アホウドリのふたつの繁殖地のうち、鳥島は活火山であり、万一噴火があった場合には、アホウドリの個体群に大きな影響が出る可能性がある。もうひとつの繁殖地である尖閣諸島は、繁殖状況の調査や保護活動を行うのが難しい現状である。このため、過去にアホウドリが繁

殖していたことが知られている場所から1カ所を選んで、アホウドリの営巣地を復活させることで、本種の復活をいっそう確実にすることが望ましいと考えられた。このため山階鳥類研究所では、生まれた場所に戻って繁殖するというアホウドリの習性を利用して、ヒナの移送により小笠原群島鴛島に繁殖地を作ることとした。2008～2012年の5年間に合計70羽のヒナを鳥島から鴛島に移送して人工飼育し、69羽を巣立たせた。鴛島の飼育地には2009年から野生のアホウドリの飛来が観察されるようになり、2011年からは人工飼育した個体の帰還が認められた。2012年11月14日には、2008年に巣立ちした人工飼育個体（色足環番号Y01、オス）と野生個体（足環なし、メス）の間に初めて産卵が、2016年には同ペアから初めて巣立ちヒナが確認された。

なお2014年5月に、鴛島から約5km南の<sup>なこうどしま</sup>媒島において、人工飼育個体（2009年巣立ち、色足環番号Y11、メス）と鳥島で生まれた年齢不詳のオスとの間に1羽のヒナが誕生したことが確認されている。また2016年5月には鴛島から約22km南の<sup>よめしま</sup>嫁島でヒナ1羽が確認されている。このヒナの親鳥は不明だが、山階鳥類研究所がこの事業で人工飼育して巣立たせた個体、あるいは同事業で誘引された個体と推察されている。

この事業は、(公財)山階鳥類研究所が、環境省、東京都、米国魚類野生生物局、三井物産環境基金、公益信託サントリー世界愛鳥基金等の支援を得て実施している。

## 尖閣諸島のアホウドリ

従来同種と考えられてきた、鳥島と尖閣諸島に由来するアホウドリは、近年、遺伝的・生態的・形態的な違いから別種と考えるのが妥当という研究成果が得られており、両者は、それぞれの独自性を保つように保全していくべきと考えられる。このため、アホウドリはこれまで考えられてきたより希少な種となり、ふたつの個体群の実態解明を急ぐとともに、引き続き動向をモニタリングする必要がある。具体的には鳥島の個体群（「アホウドリ」）についてモニタリングを継続するとともに、20年以上調査が行われていない尖閣諸島の個体群（「センカクアホウドリ」）の現状について早急な調査の実施が望まれる。

「アホウドリ」と「センカクアホウドリ」を2種と考えるべきことについては下記プレスリリースを参照のこと。

「特別天然記念物・アホウドリに2種が含まれることを解明」

(北海道大学・山階鳥類研究所 2020年11月20日)

[https://www.yamashina.or.jp/hp/p\\_release/images/20201120\\_prelease.pdf](https://www.yamashina.or.jp/hp/p_release/images/20201120_prelease.pdf)

(以上)